

+

ほやほや

福井赤十字病院

理 念 人道・博愛の精神のもとに、県民の求める優れた医療を提供します。

基本方針 ◎患者様の人権と意思を尊重し、相互理解に基づく医療を遂行します。

◎医療の質の向上に努め、良質な医療を提供します。

◎地域医療機関との連携を推進し、一貫した医療の提供に努めます。

新年のご挨拶



院長
野口正人

新年明けましておめでとうございます。

今年の干支は「亥」ですので、「核」や「猪」の同字の意味などから、無病息災にて、全てにおいて勢い良く進める年になりますようにと願うものですが、医療においては進む前に「ゆとりの心」が必要です。

福井赤十字病院では、今年の勤務のスローガンを「常に笑顔で」仕事をする（keep smile）として、ゆとりを持って患者さんに安心感を与えるケアを徹底していきたいと思っています。また、患者さんの生活、体力、健康寿命などの全人的な視点を第一にして、今年も「患者さんの体に優しい」医療を追求し、提供していきたいと考えています。

具体的には、

- 1) がん診療を適正化する：最新のPET-CT装置を設置しましたので、FDG-PET検査で「がん」の範囲を適正に判断し、最も適切な治療法を患者さんに提供する。
- 2) 体に優しい治療法を選択する：増加する大腸癌には手術後回復の早い内視鏡手術を可能な限り行い、早期前立腺癌には新たな小線源放射線治療装置を導入し、治療期間の短い体に優しい治療を提供する。
- 3) ゆとりある安全な医療を展開する：医師・看護師など職員の数を増やし、常に笑顔で患者さんの治療・ケアを行う。

の3点を、今年の病院目標といたします。

そして、昨年「寝たきり」を一人でも少なくする目的で設置した脳卒中センターの医療のように、かかりつけ医の先生との医療連携を密にしていきます。更に、今年は「がん診療」に重点をおいて、地域の皆様の健康寿命を少しでも延伸できれば幸いであると考えています。

末尾ながら、今年も紙面をとおして病院内の情報を院内外に公開していきますので、昨年同様、温かいご支援をお願い申し上げます。最後になりましたが、今年1年、皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。

がん診療へ PET/CT稼働!



最先端がん診断装置「PET-CT」導入、いよいよ2月よりスタート!!

PET-CT検査はがんの性質を利用してガン細胞を見つけます。一度に全身をチェックでき、身体への負担がほとんど無いのが特徴です。当院はがん診療の拠点病院として、最新鋭PET-CT装置によるがんの診断から治療まで万全な体制を整えています。

PET検査って、なんでしょう?

PET (ペット=陽電子放射断層撮影) 検査は体内に陽電子を放出する擬似ブドウ糖 (フッ素-18FDG) を注射し、体内の分布状態を断層像として画像化する最新の検査です。

がん細胞が正常細胞よりブドウ糖を多く取り込む性質を利用し、体内のフッ素-18FDG分布画像から、1cm前後のがんを早く正確に発見する事ができます。(※がんの種類や大きさによっては発見できない場合もあります。)

PET検査は今、がん診療に大きく貢献することが期待されています。



最新鋭PET/CT装置を導入!

当院では、検査精度を高めるために最新鋭PET/CT装置を導入いたしました。

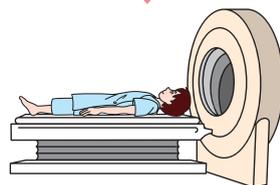
この装置ではPETスキャンによりがんを発見すると同時にCTスキャンも合わせて行う事で、詳細な位置や形態を把握することができ、より正確な診断が可能となります。正確な診断は最適な治療の選択へと結びつきます。

保険適応のがん

- ・脳腫瘍 ・肺癌 ・乳癌 ・大腸癌
- ・食道癌 ・頭頸部癌 ・膀胱癌
- ・悪性リンパ腫 ・子宮癌
- ・転移性肝癌 ・原発不明癌
- ・悪性黒色癌 ・卵巣癌

検査はとてもしっかり!

FDG検査薬を注射してから2時間程度で終わります。



どうやって診断するの?

例) 転移性肺がん



PET画像とCT画像を重ね合わせて診断すると、位置関係がわかり、とても正確に診断できるんですよ!

PET検査をご希望される患者さまは

予約制となっています。

- 当院の人間ドック (自由診療) ではPET検査を随時受け付けております。健診センター (TEL 0776-36-3667) へ直接お申し込み下さい。
- また、保険診療によるPET検査をご希望の患者さまは当院各診療科、またはかかりつけ医を経由して地域連携課 (TEL 0776-36-4110) へお申し込み下さい。

行事予定

●家庭看護法介助員養成講習

日 時: 2月3日(土)・10日(土)・17日(土)・24日(土)

9:00~15:30

会 場: 日本赤十字社福井県支部

教材費: 一般 1,000円

●救急法救護員養成講習

日 時: 3月26日(月)・27日(火)・28日(水)・29日(木)

9:00~17:00

但し、29日は9:00から12:00

会 場: 日本赤十字社福井県支部

教材費: 一般 3,000円

申し込み先: 日本赤十字社福井県支部 TEL.0776-36-3640 FAX.0776-36-6299

日本赤十字社第3ブロック合同救護訓練



大地震災害を想定した日本赤十字社第3ブロック（愛知・岐阜・三重・静岡・長野・富山・石川・福井）合同救護訓練が10月29日、福井赤十字病院で開催され、医師・看護師・ボランティアら総勢500名が臨場感あふれた訓練を展開しました。



今回の訓練では、従来のデモンストレーションのような側面を取り除き、現実に即した計画に沿って繰り返されました。例えば、これまで負傷者が会場に流れ込んでくるとまずトリアージと呼ばれるエリアで重症・中等症・軽症に選別してきましたが、一度にどっと押し寄せる現場では時間を要してしまうことから、一步踏み込んだスタート式トリアージが随所に取り入れられました。災害時の初動救助は1分遅れると死者が1人増えると言われ、初期の素早

い対応が求められています。スタート式トリアージではまず歩けるものと死亡者は院内に入れず、歩行不可の重症者と中等症のみ院内へ導きます。そして「呼吸」「循環」「意識」の順に確認し各エリアに分けていく、救急法などを学んだことのある一般の人でもできるやり方です。

また今回は負傷者役も傷モデルでリアルにメイクされ、演技指導まで受け現場に送り出されました。ですからこれまでの時折り笑顔を見せながら取り組んでいた負傷者役の光景は見られず、誰もが本物の負傷者を醸し出していました。さらにトリアージタグ(トリアージされた人のカルテ)を現地災害対策本部に届け、これを基に負傷者一覧を作成し氏名と性別をスクリーンに映し出し、家族が安否確認に訪れても一目で確認できたり、動向を尋ねられても対応を図られるよう施されました。今回、負傷者役に職員も多く参加し、自らが救護される立場に立って検証もしました。

その中で、出血をした負傷者役になった若い看護師は「言葉がなくても優しく拭いてくれるだけで嬉しく感じました。精神的に不安な患者さんは安心感を持てることを改めて学びました」と話し、今後の看護に活かすことを誓っていました。



白地に赤い十字の「赤十字マーク(標章)」

(連載) 赤十字豆知識 No.2

世界の多くの人々にこのマークは知られています。しかし、残念なことにその本当の意味を知っている人は多くありません。

赤十字マークにはジュネーブ条約に基づいてデュナンの唱えた二つの意味があります。一つは戦争や紛争等の時に、傷ついた人々を助ける人やそれらの人々を収容する建物や車などを安全に保護するためのものです。赤十字関係者、赤十字施設、軍隊の衛生部隊・施設などを攻撃から守り、戦争の負傷者などを救うために、平和な場所を作るためのシンボルマークです。したがって、このマークのついた病院・救護員は中立ですから、絶対に攻撃してはいけないことが国際的な約束になっています。

もう一つは赤十字に関係のある人や物を表し示しています。ですから赤十字に関係のある人または物以外は無断で使用することができません。赤十字マークが、例えば一般の病院・医療機関・薬局の印として広まってしまうと単にそれらを表すマークという誤ったイメージが出来上がり、万一の戦争や紛争などの時、赤十字マークが「保護」のシンボルマークであることが人々に分からず、助ける人や傷ついた人々の安全が保てず救うことも難しくなってしまいます。

赤十字マークは、人間の生命を守る(保護する)ための大切なマークです。ごく例外的に、ケガをした人や体の具合が悪くなった人に手当てをする応急救護所として国体やスポーツ大会など赤十字マークの使用を許可することもあります。





こころの薬箱コンサート

2005年のクリスマスから始まった、ボランティアの方によるミニコンサートが毎月、病棟のデイルームで開かれています。

詩季の会のハーブ奏者・廣部正雄さんとフルート・オカリナ奏者の藤田敏江さんが、童謡や各国の民謡、荒川静香選手金メダル曲「トウランドット」等多彩な曲を10曲近く演奏して下さいます。

毎回、多くの患者様がそのやわらかな音色と心地よい響きにこころを癒され、中には曲に合わせて自然と口ずさむ患者様もおられ、和やかなひとときとなっています。

クリスマスコンサート

12月20日(水) 仁愛女子高等学校合唱部のみなさんによるクリスマスコンサートが中央ホールで催されました。美しい歌声に聴き入り、また、会場の全員で「ジングルベル」や「きよしこの夜」をいっしょに歌ったり、楽しいひとときを過ごしました。



キャンドルサービス

12月22日(金)の夜、キャンドルを灯した200余名が各病棟を周り、厳かな癒しの歌声を患者様に届けることが出来ました。この当院スタッフの参加による歌声は、昭和31年に始まりました。毎年、患者様の一日も早い回復を祈る気持ちが1つとなり、美しく響きます。昭和34年当時、本院に入院されていた患者様がこの情景をもとに病床で作詞、作曲された「神よ人々を苦より救ひたまへ」は、赤十字の看護師としての喜び、誇り、責任を強く感じる特別な曲です。46年経った今でもキャンドルサービスで大切に歌い継がれています。

『かかりつけ医』をお持ちになることをお勧めします

当院では、かかりつけ医の先生方と連携して、高度で専門的な医療を提供します。

患者様には、普段の健康管理はかかりつけ医の先生のもとで、より専門的な検査や治療が必要な場合は、かかりつけ医の先生にご相談いただき、紹介状をご持参の上で、当院を受診していただくようお願いいたします。

なお、当院では紹介状を持参されない初診の患者様には、初診にかかる費用として初診料のほかに**初診時選定療養費として1,575円**を頂いておりますが、平成**19年2月1日**より**2,625円**に改定させていただきますことになりましたので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

編集後記

お正月に欠かせないと言えば「鏡もち」。お餅は、古くから神の食べ物とされ、正月には年神様へお供えしそれを下げていただくのが慣わしです。お餅を丸くするのは人の魂や心臓をかたどっていて、鏡は魂を示す神器でもあるところから、年神様にお供えて食することは新しい生命力が授けられると言い伝えられています。また陰と陽を重ね、福が重なるという意味から大小二つのお餅を重ねて「鏡もち」としているわけですね。お餅ならやっぱりお雑煮。お雑煮は内臓を保養する意味だそうです。皆さん！年のスタート1月は、お餅・お雑煮をいっぱい食べて、ねばりづよ〜い1年を過ごしましょう！！

★ご意見・ご感想は広報委員会事務局(総務課)まで

「**はやはや**」第17号
2007.1発行 広報委員会

〒918-8501福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630(代) FAX.0776-36-4133
URL:<http://www.fukui-med.jrc.or.jp/>
E-mail:webmaster@fukui-med.jrc.or.jp